



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月1日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 あみやき亭
コード番号 2753 URL <http://www.amivakitei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 啓介
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 千々和 康

TEL 0568-32-8800

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	6,676	13.5	720	9.2	730	8.5	561	32.6
26年3月期第1四半期	5,884	6.3	659	45.6	673	43.5	423	60.1

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 561百万円 (32.5%) 26年3月期第1四半期 423百万円 (60.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	82.03	—
26年3月期第1四半期	61.85	—

(注) 当社は、平成25年10月1日付で株式1株につき100株の株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成26年3月期の1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	18,008	14,602	81.1	2,132.10
26年3月期	17,991	14,211	79.0	2,075.08

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 14,602百万円 26年3月期 14,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2,000.00	—	25.00	—
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で株式1株につき100株の株式分割を実施しております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,600	11.5	1,275	△10.2	1,310	△9.6	757	△16.1	110.53
通期	28,000	14.0	2,625	△2.4	2,700	△2.0	1,541	△8.2	225.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	6,848,800 株	26年3月期	6,848,800 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	— 株	26年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	6,848,800 株	26年3月期1Q	6,848,800 株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で株式1株につき100株の株式分割を実施しております。上記の株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策によって円安・株高傾向が続き、企業業績の改善や所得環境・雇用情勢の好転により、全体として緩やかな景気回復が見られました。一方で、消費税増税の影響や新興国経済の停滞など、依然として先行きに不安が残る状況となっております。

当業界におきましては、業態間でばらつきはあるものの、消費税増税の影響は総じて限定的で、外食需要は堅調に推移しましたが、原材料価格の上昇並びに人員確保問題や人手不足を背景とした人件費高騰など依然として取巻く経営環境は厳しい状況となっております。

このような環境の下、当社グループといたしましては、「お客様に喜んでいただき、選んでいただく店舗作り」を目指し、「食肉の専門集団」の強みであるカット技術を活かして価格据置で品質向上に努め、お客様にとって価値感・満足感のある商品を提供するなど他社との差別化を図り、既存店の強化を行ってまいりました。

店舗数につきましては、前連結会計年度末において、株式会社アクトグループの新規連結による12店舗の増加があった結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は208店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高6,676百万円（前年同期比13.5%増）、営業利益720百万円（前年同期比9.2%増）、経常利益730百万円（前年同期比8.5%増）、四半期純利益561百万円（前年同期比32.6%増）と増収増益となりました。

また、株式会社あみやき亭単体の当第1四半期累計期間の業績は、売上高5,109百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益560百万円（前年同期比0.5%増）、経常利益581百万円（前年同期比0.2%減）、四半期純利益401百万円（前年同期比18.1%増）と増収増益となりました。

<焼肉事業>

焼肉事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、美濃路大垣店をほるもん業態のほるたん屋へ、また株式会社アクトグループの新宿米助をほるもん業態のほうらずへ業態変更するなどした結果、134店舗となりました。内訳は、あみやき亭102店舗、どんどん13店舗、かるび家5店舗、スエヒロ館9店舗、ほるたん屋2店舗、ブラックホール2店舗、ほうらず1店舗であります。

当社が経営する「あみやき亭」では、品質の向上に徹底的にこだわり「お客様にとって価値感・満足感のある商品」の提供に努め、既存店強化に努めてまいりました。

また、「食肉の専門集団」である強みを活かした名古屋市場直送の新鮮な朝挽きホルモンをその日のうちにお客様へ提供する牛タンとホルモン専門店の「ほるたん屋」におきましては、引き続きお客様に満足感・価値感のあるものとなるよう更に商品の磨きこみを行っております。

株式会社スエヒロレストランシステムが経営する焼肉「スエヒロ館」につきましては、「食肉の専門集団」である強みを活かして「チェーン店価格」での商品を提供しております。

以上の結果、焼肉事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、5,086百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

<焼鳥事業>

焼鳥事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、56店舗であります。

焼鳥事業は、当社が経営する「元祖やきとり家美濃路」であります。

焼鳥事業におきまして、以前より最優先事項として内部取り組みを行ってまいりましたが、徐々ではありますその成果が出つつあります。引続き焼きの技術向上はもとより基本の徹底や接客・サービスのレベル向上に向けた社員教育の取り組みを行ってまいります。

以上の結果、焼鳥事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、929百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

<その他の事業>

その他の事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、18店舗であります。

内訳は、株式会社スエヒロレストランシステムが経営する、レストランの「スエヒロ館」6店舗、居酒屋「楽市」3店舗と株式会社アクトグループが経営する寿司業態の「すしまみれ」3店舗、ダイニング5店舗、イタリアンレストラン1店舗であります。

レストランの「スエヒロ館」につきましては、「食肉の専門集団」である当社グループの強みを活かした「100%国産ハンバーグ」「国産牛ステーキ」を提供するハンバーグ・ステーキの専門店として、引続き品質の向上に努めてまいりました。

居酒屋「楽市」につきましても、メニュー開発を行うとともに商品の品質向上やお客さまの立場に立った接客・サービスの向上に努めてまいりました。

また、寿司業態、ダイニング業態、イタリアン業態とも快適な空間で食事を楽しんで頂くことを目指し、改修・改装に取り組んで参りました。

以上の結果、その他の事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は667百万円（前年同期比144.1%増）となりました。

なお、各事業への売上高については実績ベースにおいて記載しており、連結売上高に含まれておりますポイント引当金の影響を考慮しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は、18,008百万円となり、前連結会計年度末と比較し、16百万円増加しました。主な要因は原材料の増加によるものです。

負債総額は、3,405百万円となり、前連結会計年度末と比較し、374百万円減少いたしました。

主な要因は未払法人税等の減少によるものであります。

純資産総額は、14,602百万円となり、前連結会計年度末と比較し、390百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年4月1日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,124	7,115
預け金	72	70
売掛金	1	3
商品及び製品	51	50
原材料及び貯蔵品	196	231
繰延税金資産	183	208
その他	247	306
流動資産合計	7,878	7,986
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,656	4,565
構築物(純額)	327	313
機械及び装置(純額)	167	169
車両運搬具(純額)	17	15
工具、器具及び備品(純額)	158	142
土地	1,336	1,336
建設仮勘定	2	22
有形固定資産合計	6,667	6,566
無形固定資産		
ソフトウェア	1	2
のれん	679	668
その他	42	41
無形固定資産合計	723	711
投資その他の資産		
投資有価証券	3	3
長期貸付金	264	258
繰延税金資産	333	339
差入保証金	1,271	1,286
投資不動産	283	283
その他	564	571
投資その他の資産合計	2,722	2,742
固定資産合計	10,113	10,021
資産合計	17,991	18,008

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,042	855
未払金及び未払費用	1,056	1,057
未払法人税等	689	260
賞与引当金	131	239
役員賞与引当金	—	7
株主優待引当金	3	11
ポイント引当金	38	46
資産除去債務	2	2
その他	340	449
流動負債合計	3,305	2,930
固定負債		
負ののれん	0	0
繰延税金負債	24	23
資産除去債務	309	312
その他	140	138
固定負債合計	474	475
負債合計	3,779	3,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	9,310	9,700
株主資本合計	14,210	14,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	14,211	14,602
負債純資産合計	17,991	18,008

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	5,884	6,676
売上原価	2,104	2,455
売上総利益	3,779	4,220
販売費及び一般管理費	3,120	3,500
営業利益	659	720
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	0	0
受取賃貸料	2	2
協賛金収入	5	3
その他	1	1
営業外収益合計	14	10
営業外費用		
不動産賃貸費用	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	673	730
特別利益		
受取保険金	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	0	1
減損損失	12	—
特別損失合計	12	1
税金等調整前四半期純利益	662	729
法人税、住民税及び事業税	261	199
法人税等調整額	△23	△31
法人税等合計	238	167
少数株主損益調整前四半期純利益	423	561
四半期純利益	423	561

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	423	561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
その他の包括利益合計	0	△0
四半期包括利益	423	561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	423	561

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(開示の省略)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、補足情報等は第1四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。